

◇きのこプロジェクト（きのこP）とは

新得町と町内のダムを管理するダム事業者が協力し、町の名産のひとつである「原木しいたけ」と「ダム」をキーワードに、新得町と原木しいたけの知名度を一層上げることを目的とした取組。

各ダム事業者（帯広開発建設部、十勝総合振興局、北海道電力（株）、電源開発（株））は、ダム施設で栽培している原木しいたけの出来映えを2025年9月に開催された「しんとく新そば祭り」で競い合いました。

「わ、和牛？」と思いましたが、その表情から最上級の褒め言葉と判断しました。

「まるで和牛を思わせるような濃厚で奥深い味わい……」とのこと。

「ま、和牛を思わせるような濃厚で奥深い味わい……」とのこと。

「ま、和牛を思わせるような濃厚で奥深い味わい……」とのこと。

「ま、和牛を思わせるような濃厚で奥深い味わい……」とのこと。

「ま、和牛を思わせるような濃厚で奥深い味わい……」とのこと。

「ま、和牛を思わせるような濃厚で奥深い味わい……」とのこと。

きのこPチームでは、定期的に勉強会を開催しています。原木しいたけの栽培について知識を高めることはもちろん、プロジェクトの目的である「新得町と原木しいたけの知名度を一層上げる」ため、テーマを決め有識者の方と一緒に勉強させていただいています。

1月に今年一回目の勉強会を開催しました。少し小規模な会になりましたが、初めて参加してくれた方もいて、また少し“輪”が広がり、知識も高められたように思います。



きのこP「勉強会」を開催！



第9号
発行：2026年2月
帯広開発建設部
地域連携課

「きのこP通信」はきのこプロジェクトチームの活動を発信するものです。



「きのこP通信」は、HPに掲載中です。

新得町の

「拓鐵キノコタン」におじゃましました♪

1月の勉強会の際、拓鐵キノコタン（以下、キノコタン）におじゃましました。キノコタンの中木社長には、きのこP始動時から原木しいたけの栽培方法や、原木しいたけを通じた地域づくりといった点でご教授いただくなど、きのこP活動を支えていただいています。

案内してくれたのは、社員のMさんです。丁寧に優しく教えてくれました。

←原木に開けた穴に、しいたけの菌を入れる作業を教えてくださいました。（右がMさん）

しいたけを発生させるため、水に浸ける作業について説明してくれました。



原木しいたけ栽培を中心とした観光農園。2024年4月に開園。



キノコタンで「温度が低い時期にも発生する“しいたけの菌”を使用し始めた」と耳にしたので、早速見せていただきました。

発育は順調のようで、原木からワサワサとしいたけが生えていました。

この菌の特徴のひとつは「足」が太いことで、小さなしいたけは一層コロコロに見えて可愛いです。温度が低くても発生する“しいたけの菌”は、ダム施設（低温）で原木しいたけ栽培に挑戦しているきのこPチームにとっても関心大です。



ダム対抗きのこコンテストで注目！手づくりトロフィー（新得焼きの皿）

9月に開催された「しんとく新そば祭り」では、ダム事業者が各ダムで栽培した原木しいたけの出来映えを競う「ダム対抗きのこコンテスト」も同時開催され、優勝した屈足(くつたり)ダムの電源開発(株)には、湯浅町長から賞状と新得焼きの記念皿が贈られました。(きのP通信第5号に掲載)

きのこを全面に表現した可愛いデザインの新得焼きの皿は、表彰式を盛り上げました。このお皿の制作を担当してくれたのは、新得町役場のHさんです。

🍄：きのP通信担当者 👓：新得町役場担当者Hさん

きのこPチームから、記念品のトロフィーは「新得焼きで」、「きのこ要素を取り入れて」、「映えるように」、「表彰式が盛り上がる感じで」・・・と、難しいリクエストがたくさん出ましたが、見事に要望に答えてくれてありがとうございます！制作は苦労したのでは？



記念すべき第1回目のトロフィーなので「責任重大だな・・・」と。一目見て「きのこ」だとわかるように意識しましたが、きのこの「傘」と「足」の色付けが特に苦労しました。(焼き物は2種類以上の色付けが非常に難しい) 焼いてくれたのは職人さんです。当初、職人さんからは「新得焼きだとこのデザインは難しい」と言われ、途方に暮れました(TT)。何度も足を運び試行錯誤した結果、了承をいただくことができました。(^^)v



🍄 そんな苦労があったとは・・・Hさんの粘り勝ち(?) ですね。お皿が焼き上がった時の気持ちは？

👓 完成品を見た時は想像以上の出来で、周りの職員と喜びを分かち合いました。表彰式も「盛り上がった」という声も聞こえて非常に嬉しい気持ちです。

🍄 早くも「来年」のトロフィーを期待する声が聞こえていますね

👓 今回のデザインが大変好評でしたので、デザインは継続していこうかなと考えています・・・(サボりではありません笑)

北海道電力が「原木しいたけ」栽培をしている岩松ダムを紹介します ※栽培は、監査廊で行っています。



岩松ダム

岩松ダムは、北海道電力株式会社の前身である日本発送電株式会社が北海道で最初に建設した発電用ダムで、竣工当時は北海道で最大のダムでした。また、当時の世界的水準の技術を駆使し建設され、ダム技術向上の一翼を担いました。完成後は北海道東部地域の産業、文化の発展に大きく貢献していることが評価され、2019年、公益社団法人土木学会から「選奨土木遺産」に認定されました。

位置	新得町字屈足
河川名	十勝川水系十勝川
型式	重量式コンクリートダム
ゲート	ラジアルゲート 7門
堤高	37.2メートル
堤頂長	190.5メートル
堤体積	78,000立方メートル
総貯水容量	902.6万立方メートル
着工/完成	1939年/1942年
発電	最大出力16,000キロワット
管理者	北海道電力株式会社

※2025年10月からダムカードを配付しています。



「」の辺が特に難しかったようです

編集後記
役場のHさんから、「トロフィー(皿)が焼き上がった」と写真付きで報告をもらったとき、「優勝してこのトロフィーをgetするぞ!」と意気込み、写真を見える場所に貼りました。優勝もトロフィーも逃しましたが、まるで優勝しトロフィーをgetしたかのよう、今も写真を貼り続けています。 担当者T(--)